

平成 22 年 8 月 30 日(月曜日)

日本ロジファクトリー

日本ロジファクトリー(青木正一社長、大阪市中央区)の提供する提案書作成代行サービスが、中小物流企業に好評だ。青木社長は「2年前のリーマン・ショック以降、経済の落ち込みにより、



青木社長

荷主企業がコスト見直しを一層進めている。その一環として、コンペが当たり前になっ

てきた。運賃・料金の見直しも、サービス

に対するプラスアルファも必要」と強調する。提案書作成代行サービスでは、荷主企業からの要望、依頼内容を基に、何段階かのステップを踏

みながら作成する。コンサルタント業務を通じて得たノウハウを反映させるだけではなく、荷主企業へ同行し、フォローも

最近、売上高10億円未満の運輸・倉庫会社から、新規案件に対する提案書作成の依頼を受けた。「提案書を作ることが

ぬ発見もあり、自社を見つめ直す良い機会にもなる」荷主企業側の意識の変化も感じている。今までは運賃・料金を引き下げることが大半だったが、

提案書作成代行が好評

自社見詰め直す良い機会

これまで、紹介や既存荷主との取引拡大など、あまり積極的な営業の要

業から急ぎの依頼が増えてきた。市場が縮小する中、何か良いものを持っている会社は荷主企業から声が掛かる。段階を経

「損益分岐点を下げる中で、施設の賃貸料や人件費の無駄から、物流体制を見直す動きが活発化してきた。単純な値下げには限界を感じてきており、仕組みによるコスト削減策を欲しがるところになっている」と説明する。

(落合 涼二)